



花書と志を
 子大に書けり
 乃心此猶を
 活ちてこそ
 ありしを
 世に



坪の道達

文進子者、文學博士。名は常藏のちに雄藏。春廻やおぼろ、道達、小羊、双栞と号す。
安政六年五月三日、美濃國加茂郡太田村尾張代官所に生れ、十才の頃、文と号に名を在に
歸農す。明治五年、東京に遊學す。十六年、東京帝大文學部本科政治經濟科を卒業。早稲
田大學の前身、東京專門學校の教師となる。二十四年、早稲田文學部を創刊。親友、富田早苗と
別りて、早稲田大學文科の組織を確立す。三十二年、博士會の推選に依り、文學博士の位を受く。
大正四年、早稲田大學教授に任ぜられ、八年、熱海に別荘、双栞會の會所を著す。昭和
三年、その古稀の賀と祝し、門下生に依り、坪の道達、紀念館、別荘、博物館、建設する。その藏書、全初
子、大圖書館に寄附す。十年、二月、十八日、双栞會に病歿。年七十七。ありける文化の指導者として、世に名を傳へり。

